

平成29年1月27日

応援される皆様へ

ファイナルカップ実行委員会

ベンチマナーに関してのお願い

日頃は、ミニラグビーの活動へご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ファイナルカップは、選手の貴重な成長の場であり、皆様には試合中、自チームを監督する上で、応援マナーについてご理解いただくことで、選手がさらなる成長をすることと私どもは信じております。

ラグビーの誇りのひとつに「ノーサイド精神」があります。ラグビーでは、対戦相手は敵ではなく、仲間であります。試合は仲間がいるからでき、仲間に感謝する気持ちを持つことで、ルール・規律を守りフェアプレーでプレーいたします。それは、選手をはじめ、レフリー・指導者もラグビーを愛するどうし「リスペクト（尊敬）」しているからといわれております。

ベンチからの担当コーチの正しい指導・助言は、選手の最高のプレーを生み出します。選手の成長を信じ、ここにベンチマナーに関してご案内し、ご協力をお願い申し上げます。

1. ミニラグビーにおいて、「安全」はいつでもどこでもすべてに最優先される。

自チームの選手だけでなく、対戦相手の仲間に対しても同様であります。

絶対にけがをしない。絶対に相手にけがをさせない。厳守しましょう。

2. 自チームの選手に対し、ミスを叱咤したり、過剰なコーチングをしない。

選手への建設的な指導・助言はヘッドコーチのみとし、他コーチはご遠慮願います。

できるかぎり選手の判断にまかせましょう。

過剰なコーチングが相手プレーヤーにプレッシャーを与えております。相手にプレッシャーを与えるのは、選手でありベンチコーチではありません。

3. 相手チームのミスを喜ばない。

そのような方がいたら、周りの皆様が注意をしてあげてください。

相手のミスを喜ばず、自チームのプレッシャーを褒めてあげてください。

4. レフリーへは敬意を表し、異議を唱えない。

ミスジャッジと思われる場合でも、クレームは厳禁です。レフリーはアンパイヤ（審判）ではなく、委託者であります。レフリーを委託した以上、レフリーを信じましょう。

5. アフターマッチファンクションでは、対戦相手のコーチと交流を持ちましょう。

勝利チームを決めるのは、競技力の優劣を決めるためではなく、選手の努力を讃えるためであります。

We are proud to keep good manners.